

必須手技の「キホン」を理解！

速攻解説・基本手技⑧

Dr. 駒澤の臨床メモ

気道の管理のコツ

監修

宇部興産中央病院麻酔科部長

森本康裕

著

大阪医科大学医学教育センター講師

駒澤伸泰

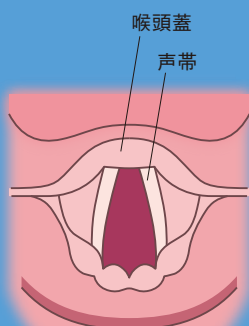
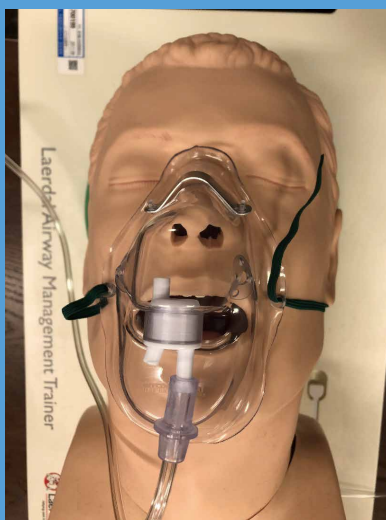
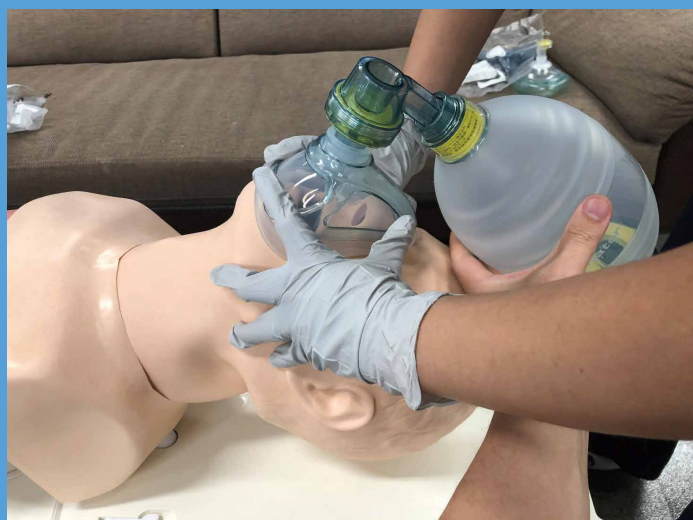
本コンテンツはハイブリッド版です。PDF だけでなくスマホ等でも読みやすい HTML 版も併せてご利用いただけます。

▶HTML 版のご利用に当たっては、PDF データダウンロード後に弊社よりメールにてお知らせするシリアルナンバーが必要です。

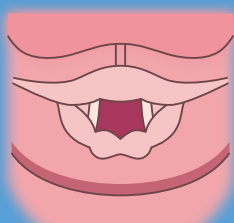
▶シリアルナンバー付きのメールはご購入から 3 営業日以内にお送り致します。

▶弊社サイトでの無料会員登録後、シリアルナンバーを入力することで HTML 版をご利用いただけます。登録手続きの詳細は <https://www.jmedj.co.jp/page/resistration01/> をご参照ください。

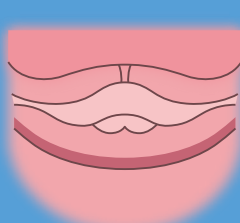
▶登録手続



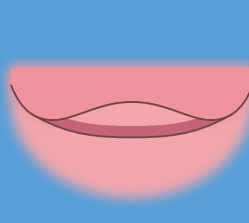
Grade I



Grade II



Grade III



Grade IV

▶HTML 版を読む

日本医事新報社では、Web オリジナルコンテンツを制作・販売しています。

▶Webコンテンツ一覧

- ▶ 気道確保の基本的なイメージがワカル
- ▶ 酸素投与の基本的な方法と注意点がワカル
- ▶ マスク換気の基本的な方法と注意点がワカル
- ▶ 気管挿管の準備、基本手技と注意点がワカル

I .気道確保

1. 目的

- ▶ 気道閉塞の解除
- ▶ 酸素化の改善
- ▶ 換気量の調節

コツ・ポイント・注意点

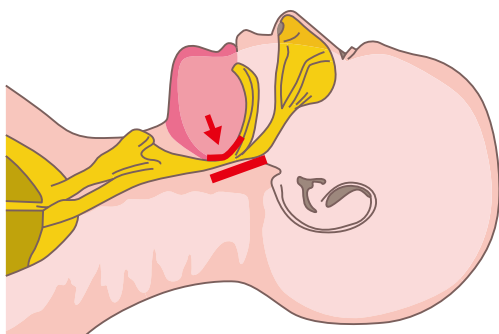
▶ 下記のどのような気道確保法 (図1) でも「舌根沈下解除」(図2) をイメージして気道確保する

- ① フェイスシールドを用いた口対口人工呼吸
- ② フェイスマスクを使用した口対口人工呼吸
- ③ バッグバルブマスクを用いた口対口人工呼吸

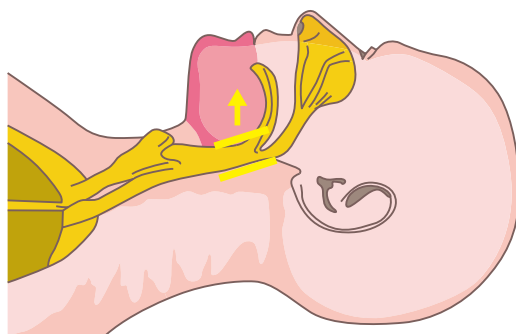


図1 3つの気道確保

すべて「舌根沈下解除」による気道閉塞解除が重要



舌根沈下



気道確保による解除

図2 舌根沈下解除

ピットフォール

▶ 頸髄損傷が疑われる場合（高エネルギー外傷）は頭部後屈は禁忌であり、下顎挙上法（図3）を選択する



図3 下顎挙上法

頸髄損傷が疑われる場合（交通事故などの高エネルギー損傷）に選択

講師からのコメント

- ▶ 意識消失や急変時は舌根沈下による気道閉塞がほとんど
- ▶ どのような方法でも、舌根沈下解除をイメージして気道確保法を行う

2. 事前の準備

- ▶ 感染防護具（手袋）
- ▶ フェイスシールド（**図4**）、携帯型フェイスマスク（**図5**）、バッグバルブマスク（**図6**）



図4 フェイスシールド
感染防護機能なし



図5 携帯型フェイスマスク
一方向弁により患者呼気を防護できる



図6 バッグバルブマスク